

# 独創的かつ革新的な新薬を持ち、世界のグローバル スペシャリティ ファーマ

# フィールドで闘える

## 課題と環境認識

医療課題	社会課題	事業環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療ニーズの高度化</li> <li>高齢化</li> <li>医療アクセス向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会と企業の共存</li> <li>社員と企業の共生</li> <li>多様性(ダイバーシティ)の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各国での医療費抑制政策の進展</li> <li>国内薬価制度の抜本的改革による規制強化</li> <li>創薬ターゲット疾患の複雑化</li> <li>新薬創製の成功確率の低下</li> <li>新薬開発の期間長期化/コスト高騰</li> <li>国際的な競争激化</li> <li>創薬イノベーション実現機会の増加</li> <li>世界市場への進出</li> </ul>

## 関連するSDGs



### 投入する資本 (2022.3)

**財務資本**  
持続的な新薬創出につながる強固な財務基盤  
資本合計: **6,616億円**  
親会社所有者持分比率: **88.7%**

**製造資本**  
高品質な医薬品を安定供給する生産基盤  
設備投資額: **93億円**  
生産拠点: **2拠点**

**知的資本**  
独自の創薬アプローチとオープンイノベーションをベースとする研究開発力  
研究開発費: **758億円**  
研究開発費対売上収益比率: **21%**

**人的資本**  
チャレンジする企業風土と自ら成長する機会の提供  
連結従業員数: **3,687人**  
延べ研修時間: **187,357時間**

**社会関係資本**  
持続可能な社会を実現するための多様なパートナーシップ  
大学やベンチャー企業などとの創薬提携・共同研究実施数: **200件**(国内外)

**自然資本**  
「ECO VISION 2050」と環境マネジメント  
エネルギー使用量: **99,438MWh**  
水資源使用量(取水量): **185千m<sup>3</sup>**

## 企業理念

# 病気と苦痛に対する人間の闘いのために

限られた経営資源を新薬の創製と開発に集中

## 自社創薬

ユニークな生理活性に注目して、最適な適応疾患を見出し、革新的な医薬品の創製に挑む

## ライセンス活動

開発パイプラインの拡充と、自社創製の医薬品の海外展開を推進する

## 4つの成長戦略

製品価値最大化  
~患者本位の視点で~

パイプラインの強化とグローバル開発の加速

欧米自販の実現

事業ドメインの拡大



適応がん腫の拡大 オプジーボ

複数のグローバル開発品

## 幅広い領域へ製品を提供

米国で臨床試験開始  
チラブルチニブ

事業ドメインの拡大  
睡眠サプリメント  
レムウェル



## マテリアリティ(重要課題) →P25~

### 価値創造 →P25~

- 革新的医薬品の創製
- パイプライン拡充
- 製品価値最大化
- 欧米自販の実現
- 事業ドメインの拡大

### 価値創造のための基盤 →P39~

- デジタル・ITによる企業変革
- 財務資本の強化
- 人的資本の拡充
- 知的財産戦略
- オープンイノベーション
- 多様なパートナーシップの促進

### 価値の保護 →P61~

- 製品の信頼性と安全性の確保
- 製品の安定供給
- 地球環境の保護
- 人権の尊重
- 法令順守とコンプライアンスの徹底
- サプライチェーンマネジメント

### コーポレート・ガバナンスの向上 →P91~

## 「サステナブル経営方針」 人々の健康への貢献 (2021年度実績)

### 経済価値

- 新薬創出、効能・効果追加による安定的な収益(売上収益:3,614億円)
- 持続的成長による安定的な株主への利益還元(1株当たり配当金56.00円、配当性向34.5%)

### 社会価値

- 革新的な医薬品の創製
- 高品質な医薬品の安定供給
- 医療アクセスの向上
- 障がい者雇用率2.38%(前年比0.21ポイント増)
- 地域との連携(大阪府との連携協定締結など)
- 多様な人材  
女性社員の定着率95.9%、キャリア採用在籍従業員数487人(2017年度比107人増)

### 環境価値

- 温室効果ガス排出量の削減(スコープ1+2:2017年度比20.9%削減、スコープ3:2017年度比33.7%削減)
- 全消費電力に占める再生可能エネルギー利用率の向上(利用率:17%(前年度13.2%))
- 水資源使用量の削減(取水量削減率:2020年度比10.7%)
- すべての産業廃棄物に占める最終埋処分率1%以下の維持(処分率:0.04%)
- 環境にやさしい包装の採用(プラスチックから紙素材への変更など)